



11月27日(火)

## 父なる神様をほめたたえる

聖書朗読 使徒 4:13~21

私たちは、自分の見たこと、また聞いたことを、話さないわけにはいきません。  
使徒 4:20

夕食の祈りの後に4歳の女の子が考え込んだ様子でこう言いました。

「神様にいろいろお話するのに、どうして神様の話をもっとしないの?」。これは私たちがクリスチャンに自分の信仰が誠実であるかを問う質問とも言えます。私たちは神様の話を何故あまりしないのでしょうか?

話している相手をほめることは、よくあります。しかし、その場にはいない人をほめる場合は、もっと意味が深いものになります。あなたがいるのに気がつかないで、誰かがあなたの長所を話しているのを聞いたことがありますか。小さな子どもが、あなたがどんなに親切かを他の子どもに話しているのを聞いたことがありますか。夫があるいは妻が、あなたが眠っていると思って優しい言葉を掛けているのを聞いたことがありますか。こういう言葉は、お世辞や嘘ではないので 実に嬉しいものです。

無意識の内に特別に神様をほめたたえていて、それを神様がお聞きになる。また、ごく自然に誰かに神様の良い事を話す。そういう事ができると素晴らしいですね。

*朝 目を覚ました時に*

*あなたを忘れていた事がある!*

*神様が私を忘れることはない*

*あなたは私を目覚めさせてくださる方*

———ジョージ・マクドナルド

讃美歌 539

祈り 親愛なるお父様。今日をあなた様の存在を意識する日にしたいです。あなたの働きの素晴らしさや、あなたの愛を私の周りの人に話すことができますように、助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エミリー・Y・レムリー 編集者

11月28日(水)

## ウエディングプランナー

聖書朗読 創世記 2:18~25

それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。  
創世記 2:24

神様の素晴らしい創造の業は、ご自分に似た存在を作り終えた時に完成しました。それは、愛することが可能で、かつ目的を持って生きる人間でした。初めは、男性しかいませんでした。神様は男が一人にいるのは良くないとお思いになり、結婚を計画しました! 女性をお作りになったのです。二人は結婚しました。そして、それは非常に良かったのです。

神様には神様だけがご存知のことがありました。それは、創造の以前から、私たち人間が神様から離れる事をご存知であったということです。しかし、イエス・キリスト様の働きで私たちと神様が和解し、元の関係に立ち返る事を計画されておりました(エペソ1:4)。そこで、神様はご自身の結婚を計画なさいました。花婿(キリスト)として、花嫁(教会)に自分を献げられたのです。(エペソ5:25-32)

花嫁料はすでに支払われました。花嫁のために主が地上に戻られる日は、日に日に近づいています。素晴らしい結婚式となる事でしょう! 『小羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができた』(黙示録19:7)と言われる日は近いでしょう。教会は、『小羊の花嫁』となるのです(黙示録21:9)。

讃美歌 191

祈り お父様。神様の素晴らしいご計画をありがとうございます。花婿であられるイエス様が地上に戻られる準備をしながら、今日を過ごすことができますように。

聖なるお名前によって祈ります。アーメン。

ダナ・メラネス  
テキサス州 ビクトリア

11月29日(木)

## 覆ってくださる神様

聖書朗読 創世記 3:17-24

すべての人は罪を犯したので、神の栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。

ローマ 3:23-24

神様がアダムとエバを覆ってくださったものは、羽根でしたか。最近、教会で聖書に関する質問を募集したところ、エデンの羽のことを聞かれました。創世記3章21節には、皮の衣で覆ってくださったと記されています。それはモーセの書いた聖書でも子ども用の聖書でも同じです。この皮というヘブル語は、聖書の中で28回出てきます。モーセとヨブの皮膚、ささげ物の皮、じゅごんの皮です。どこを見ても羽については、言及されていません。これは冗談ですが、二人を覆ったの 蛇の皮ではなかったと思います(悪魔は皮を剥がされるに値しますが)。

罪深い人間を覆うために、歴史上で初めて殺される行為がなされたことは、意味深い事です。これは私の罪を覆うために神の子であるイエス様が死ななければならなかったという予表でもあります。イザヤが、それを解りやすく描写しています(イザヤ書53:5-11)。パウロは、それがキリストの十字架によって完成されたと断言しています(ローマ3:23-26)。アダムとエバは自分たちで覆おうとしましたが、私たちの罪を覆えるのは神様だけです。イエス様をまとう事で、今日この時でさえ私たちの全ての罪が洗い清められるのです(ヨハネ1:7)。なんと素晴らしい恵みでしょう!

讚美歌 第二編 167

祈り 救い主なる神様。私の罪を覆ってくださる神様の憐れみを見る時に、今日、あなたに、より近づいて歩んでいきたいです。あなた様は私の覆いです。イエス様のお名前によって。アーメン。

ビル・アドコック  
オクラホマ州 ベタニー

11月30日(金)

## 命令しないで!

聖書朗読 創世記 6:11-12

あなたがたに新しい戒めを与えましょう。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。 ヨハネ 13:34

「…しなさい」と命令されることが好きな人はあまりいません。祖母は、命令されると「背筋が伸びる」とよく言っていたものです。口に出さなくても「何様のつもりだ?お前に命令する権利なんてない!」と思ったりします。また、誰が「命令」したかによって、私たちは対応を変えます。

命令を恐れ、また従わないことによって起こりえる事を恐れる時もあります。その命令の動機やそれまでの経験などから、それが信頼できるものかを考慮します。また、命令をした人に好意を持っていて、その命令が私たちを心配する故、または愛する故であると理解できる時もあります。そして、従うことでその愛に答えようとしません。命令をした人との過去の経験によって、私たちの感情は 恐れから尊敬へ、そして愛へと推移して行きます。

ヨハネの手紙第一5章3節には、この愛が描かれています。『神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。』 『この道』(使徒24:14)に従うことは難しくありません。神様の意志に従うことは難しいことではありません。「困難な」中でも、もし競走の後にはいただけのご褒美に焦点を合わせていれば、それは困難ではなくなるのです(ピリピ3:14)。

讚美歌 87B

祈り 天のお父様。あなた様の命令に従えるように聖霊によってお導きください。意固地な私たちをお許しください。神様のご命令の中にある愛を見せてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ウイリアム・T・マクコフマン  
オレゴン州 フィロマス

12月1日(土)

## 平和を選びなさい

聖書朗読 創世記 13:5~18

そういうわけですから、私たちは、平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つことを追い求めましょう。ローマ 14:19

アブラハムの家族もロトの家族も祝福され、2家族が一緒に住むのが難しくなるほどに家畜が増えました。そこでお家騒動が始まりました。牧草も足りなくなり、そして我慢も限界に達しました。2家族の間には緊張が走り、口論が起り、問題が噴出しました。

そこで、アブラハムはロトに分かれて住むことを提案しました。ロトには、家族や家畜を養うのに良い土地を選ばせました。ロトは、見た目にいい土地である「よく潤った」ヨルダンの低地の緑が多く大きな町があり将来が明るそうな方を選びました。ロトは、ソドムの町が歴史上初の罪の町であることに気がつかなかったのでしょうか。それとも、故意に気に留めなかったのでしょうか。

アブラハムはどうしたのでしょうか。彼は残った方の土地に行きました。平和を選んだ彼は別の道を行き、そこに「主のための祭壇を築き」礼拝しました。その土地は祝福されました。

平和を選ぶときにご褒美をいただけることは、明白です。私たちは、真実や正義を振りかざして自分の意見を主張する時がありますが、大抵の場合、それは生か死かのような深刻なものではありません。平和のために他の人に譲れる人は、心の広い謙遜な人です。そして、平和を選ぶ人は大いに祝福されるでしょう。

讃美歌 512

祈り お父様。特に必要な時に、他の人を愛を持って優先させることができますように。平和を求めさせてください。この世界にはあなたからの平和が必要です。私からそれを始めさせてください。

平和の君であるイエス様のお名前によって。アーメン。

ベン・メレネス  
テキサス州 アマリロ

12月2日(日)

## 前進あるのみ

聖書朗読 創世記 24:1~10

アブラハムは彼に言った。「私の息子をあそこへ連れ帰らないように気をつけなさい。」 創世記 24:6

創世記 24 章には不思議な話があります。ここから神様は私たちに何を学ばせたいのでしょうか。アブラハムはしもべを、故郷であるメソポタミアの北側に遣わし、そこに住む親戚の中から息子のイサクの妻を探すように言いつけました。現在住んでいるカナン人からは妻を迎えないように指示しました。しもべは、その娘はアブラハムの住む新しい場所に来ないかもしれないと心配しました。イサクを北の地に連れて行くことも考えましたが、アブラハムがそれを拒みました。アブラハムは、しもべに「その娘がついて来ようとしなければ誓いから解かれる」と言いました。

さて、ここから学べることはなんでしょう。後戻りしてはいけないと言うことではないかと思います。神様は前に進むように招いておられます。いつもそうです。神様はアブラハムに故郷のウルを出て、神様に従って新しい土地に行きなさいとおっしゃいました。ヤハウエの神を信じる者の中から息子の妻を探すために短期間だけ、アブラハムは後ろを振り返りました。

創世記 24 章には、しもべは無事にイサクの妻のリベカを見つけたことが記されています。神様が先回りして全てを整えて下さったのです。神様はおっしゃいます。「前に進みなさい。あなたを祝福するために 私はあなたの前を行きます!」

讃美歌 285

祈り 私たちのお父様。あなたの栄光をたたえ、素晴らしい御名をほめたたえます。私たちが未来に向かって招いてくださり感謝いたします。いつでもあなた様を信頼できることも感謝いたします。

救い主イエス様のお名前を通して祈りします。アーメン。

ビル・ヘネガー  
カルフォルニア州 ウエストレイク ビレッ

ジ